

四半期報告書

第63期第1四半期

平成25年4月1日から
平成25年6月30日まで

スガイ化学工業株式会社

(E00906)

目 次

	頁
表紙	
第一部 企業情報	1
第1 企業の概況	1
1 主要な経営指標等の推移	1
2 事業の内容	1
第2 事業の状況	2
1 事業等のリスク	2
2 経営上の重要な契約等	2
3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析	2
第3 提出会社の状況	4
1 株式等の状況	4
2 役員の状況	5
第4 経理の状況	6
1 四半期財務諸表	7
(1) 四半期貸借対照表	7
(2) 四半期損益計算書	9
2 その他	10
第二部 提出会社の保証会社等の情報	11

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成25年8月9日
【四半期会計期間】	第63期第1四半期（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）
【会社名】	スガイ化学工業株式会社
【英訳名】	SUGAI CHEMICAL INDUSTRY CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 永岡 雅次
【本店の所在の場所】	和歌山県和歌山市宇須四丁目4番6号
【電話番号】	和歌山 073（422）1171（代表）
【事務連絡者氏名】	常務取締役 管理本部長 武田 晴夫
【最寄りの連絡場所】	和歌山県和歌山市宇須四丁目4番6号
【電話番号】	和歌山 073（422）1171（代表）
【事務連絡者氏名】	常務取締役 管理本部長 武田 晴夫
【縦覧に供する場所】	株式会社 東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第62期 第1四半期 累計期間	第63期 第1四半期 累計期間	第62期
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (千円)	727,949	1,285,814	6,264,976
経常利益又は経常損失 (△) (千円)	△294,668	117,058	194,466
四半期(当期)純利益又は 四半期純損失 (△) (千円)	△297,962	103,249	156,110
持分法を適用した場合の 投資利益 (千円)	—	—	—
資本金 (千円)	2,510,000	2,510,000	2,510,000
発行済株式総数 (千株)	13,730	13,730	13,730
純資産額 (千円)	4,153,830	4,831,034	4,749,113
総資産額 (千円)	9,312,929	9,600,412	10,458,326
1株当たり四半期(当期) 純利益又は1株当たり 四半期純損失 (△) (円)	△21.75	7.54	11.39
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	—	—	—
1株当たり配当額 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	44.6	50.3	45.4

(注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については、記載しておりません。

3 持分法を適用した場合の投資利益については、関連会社がないため記載しておりません。

4 第63期第1四半期累計期間及び第62期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、第62期第1四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、関係会社についても異動はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期会計期間において、新たに決定または締結した経営上の重要な契約等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

(経営成績の分析)

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府主導による経済政策や日本銀行の大幅な金融緩和等により、円安の進行と株価の上昇が起り、景気回復へ向けた明るさが見えてまいりました。一方、海外では、米国経済においては緩やかな回復が続いているものの、債務問題が長期化している欧州経済の景気低迷に加え、中国をはじめとする新興国の成長鈍化により、先行き不透明な状況が続きました。

このような状況の中で、国内売上高は、315百万円と前年同期（381百万円）に比べ、66百万円（17.5%）の減収となりました。これは、農薬用中間物は増加しましたが、機能性用中間物及び界面活性剤が減少したためです。

一方、輸出売上高は、970百万円と前年同期（346百万円）に比べ、624百万円（180.4%）の大幅な増収となりました。これは、為替が大幅に円安になったことと、医薬用中間物及び農薬用中間物が増加したためです。

この結果、総売上高は1,285百万円となり、前年同期（727百万円）に比べ557百万円（76.6%）の大幅な増収となりました。また、輸出比率は75.5%（前年同期47.6%）となりました。

利益につきましては、売上高の増収、生産性改善などのコストダウン及び為替の円安による輸出製品の採算改善により、営業利益は103百万円（前年同期 営業損失286百万円）となりました。営業外損益では投資有価証券の受取配当金13百万円等を計上したこともあり、経常利益は117百万円（前年同期 経常損失294百万円）、四半期純利益は103百万円（前年同期 四半期純損失297百万円）となりました。

(財政状態の分析)

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ857百万円減少の9,600百万円となりました。これは主に、商品及び製品が331百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が1,048百万円減少したことによるものです。

負債につきましては、前事業年度末に比べ939百万円減少の4,769百万円となりました。これは主に、借入金が1,105百万円減少したことによるものです。

また、純資産は前事業年度末に比べ81百万円増加の4,831百万円となり、自己資本比率は50.3%（前事業年度末45.4%）となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題については、重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(3) 研究開発活動

当第1四半期累計期間における研究開発費の総額は58百万円です。なお、研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(4) 生産及び販売の実績

当第1四半期累計期間において、生産及び販売実績が著しく変動しました。内容は下記のとおりであります。

なお、当社の事業は、有機化学合成に基づく中間物の製造、販売、研究及びサービス等を行う単一セグメントであるため、セグメント情報を記載しておりませんので、「生産及び販売の実績」については製品の種類別ごとに記載しております。

① 生産実績

区分	生産高（千円）		前年同四半期比（％）
	前第1四半期累計期間	当第1四半期累計期間	
医薬用中間物	40,495	547,881	1,252.9
農薬用中間物	718,357	1,003,046	+39.6
機能性用中間物	126,275	9,763	△92.3
その他用中間物	22,177	29,372	+32.4
界面活性剤	102,424	123,829	+20.9
合計	1,009,731	1,713,894	+69.7

(注) 金額は、販売価格（消費税等抜き）によっております。

② 販売実績

区分	販売高（千円）		前年同四半期比（％）
	前第1四半期累計期間	当第1四半期累計期間	
医薬用中間物	135,427	490,505	+262.2
農薬用中間物	297,395	605,561	+103.6
機能性用中間物	144,110	72,265	△49.9
その他用中間物	28,437	24,885	△12.5
界面活性剤	113,726	86,070	△24.3
その他	8,850	6,525	△26.3
合計	727,949	1,285,814	+76.6

(注) 1 金額には、消費税等は含まれておりません。

2 主な輸出先、輸出販売高の増減は、次のとおりであります。

輸出先	輸出版売高（千円）		前年同四半期比（％）
	前第1四半期累計期間	当第1四半期累計期間	
北米	255,100	960,394	+276.5
欧州	91,075	3,737	△95.9
アジア他	—	6,675	—
合計	346,175	970,807	+180.4

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

②【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年8月9日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	13,730,000	13,730,000	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 1,000株
計	13,730,000	13,730,000	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高(千円)
平成25年6月30日	—	13,730,000	—	2,510,000	—	2,016,543

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の議決権の状況については、実質株主が把握できず、記載することができませんので、直前の基準日である平成25年3月31日の株主名簿により記載しております。

① 【発行済株式】

平成25年3月31日現在

区分	株式数 (株)	議決権の数 (個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式 (自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式 (その他)	—	—	—
完全議決権株式 (自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 27,000	—	単元株式数 1,000株
完全議決権株式 (その他)	普通株式 13,651,000	13,651	同上
単元未満株式	普通株式 52,000	—	1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	13,730,000	—	—
総株主の議決権	—	13,651	—

② 【自己株式等】

平成25年3月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数 (株)	他人名義所有 株式数 (株)	所有株式数の 合計 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合 (%)
(自己保有株式) スガイ化学工業株式会社	和歌山県和歌山市宇須 四丁目4番6号	27,000	—	27,000	0.20
計	—	27,000	—	27,000	0.20

(注) 当第1四半期会計期間末の自己株式数は28,000株であります。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1 四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

3 四半期連結財務諸表について

「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）第5条第2項により、当社では、子会社の資産、売上高、損益、利益剰余金及びキャッシュ・フローその他の項目からみて、当企業集団の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に関する合理的な判断を妨げない程度に重要性が乏しいものとして、四半期連結財務諸表は作成しておりません。

なお、資産基準、売上高基準、利益基準及び利益剰余金基準による割合は次のとおりであります。

① 資産基準	0.4%
② 売上高基準	0.6%
③ 利益基準	△2.9%
④ 利益剰余金基準	△8.8%

1 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,063,753	820,089
受取手形及び売掛金	※1 2,462,315	※1 1,414,033
商品及び製品	2,038,741	2,370,041
仕掛品	124,564	148,804
原材料及び貯蔵品	235,946	291,466
その他	17,895	46,107
貸倒引当金	△7,397	△4,274
流動資産合計	5,935,821	5,086,267
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	917,617	912,385
機械及び装置（純額）	965,785	953,700
土地	1,328,624	1,328,624
その他（純額）	432,344	447,760
有形固定資産合計	3,644,370	3,642,470
無形固定資産	5,817	5,817
投資その他の資産		
投資有価証券	790,556	786,279
関係会社株式	3,819	3,819
その他	92,118	89,948
貸倒引当金	△14,176	△14,191
投資その他の資産合計	872,316	865,855
固定資産合計	4,522,505	4,514,144
資産合計	10,458,326	9,600,412
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	840,000	872,577
短期借入金	1,450,000	550,000
1年内返済予定の長期借入金	847,029	801,729
未払法人税等	16,397	10,981
賞与引当金	50,810	37,223
その他	456,311	575,221
流動負債合計	3,660,549	2,847,732
固定負債		
長期借入金	1,614,917	1,454,818
退職給付引当金	246,991	263,801
その他	186,754	203,024
固定負債合計	2,048,663	1,921,644
負債合計	5,709,212	4,769,377

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,510,000	2,510,000
資本剰余金	2,016,543	2,016,543
利益剰余金	100,194	203,444
自己株式	△4,454	△4,607
株主資本合計	4,622,283	4,725,380
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	127,047	105,993
繰延ヘッジ損益	△217	△340
評価・換算差額等合計	126,830	105,653
純資産合計	4,749,113	4,831,034
負債純資産合計	10,458,326	9,600,412

(2) 【四半期損益計算書】
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	727,949	1,285,814
売上原価	814,657	955,222
売上総利益又は売上総損失(△)	△86,708	330,591
販売費及び一般管理費		
発送運賃	10,978	24,992
従業員給料及び手当	75,819	76,145
賞与引当金繰入額	7,563	11,337
退職給付費用	15,823	15,727
その他	89,654	98,878
販売費及び一般管理費合計	199,838	227,082
営業利益又は営業損失(△)	△286,547	103,509
営業外収益		
受取利息	17	19
受取配当金	13,851	13,795
為替差益	—	4,738
補助金収入	7,328	6,211
その他	5,245	4,491
営業外収益合計	26,442	29,256
営業外費用		
支払利息	11,386	9,972
為替差損	14,439	—
その他	8,738	5,734
営業外費用合計	34,563	15,706
経常利益又は経常損失(△)	△294,668	117,058
特別損失		
固定資産除却損	1,805	6,100
特別損失合計	1,805	6,100
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△296,473	110,958
法人税、住民税及び事業税	1,849	7,902
法人税等調整額	△360	△193
法人税等合計	1,489	7,708
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△297,962	103,249

【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

※1 四半期会計期間末日満期手形

四半期会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期会計期間末日満期手形が四半期会計期間末日残高に含まれております。

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形	5,432千円	15,424千円

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)の償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
減価償却費	127,592千円	110,316千円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)及び当第1四半期累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

当社の事業は、有機化学合成に基づく中間物の製造、販売、研究及びサービス等を行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失(△)及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益又は 1株当たり四半期純損失(△)	△21.75円	7.54円
(算定上の基礎)		
四半期純利益又は 四半期純損失(△) (千円)	△297,962	103,249
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益 又は四半期純損失(△) (千円)	△297,962	103,249
普通株式の期中平均株式数 (千株)	13,702	13,701

(注) 当第1四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、前第1四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年8月8日

スガイ化学工業株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 日根野谷 正人 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 奥 田 賢 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているスガイ化学工業株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの第63期事業年度の第1四半期会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、スガイ化学工業株式会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
- 2 四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。